

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 北九州市立すがお小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒803-0264  
福岡県北九州市小倉南区山本393-6

E-mail : sugao-e@kita9.ed.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 47名 女子 40名 合計 87名  
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

### 【学校の取組】

本校は「志を育てる未来志向型ふるさと教育」による環境を視点とした持続発展学習（ESD）を、以下の2つを柱にして取り組み、推進している。

#### （1）未来志向型ふるさと活動（環境を視点に、郷土・福祉・平和・国際理解とのかかわり、つながり）

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| ①全校いかだ遊び・カヌー体験                 | 学校の前を流れる紫川で手づくりのいかだでレースをしたり、カヌー体験をしたりして、ふるさとの川とふれあい・かかわりながら慣れ親しんでいく。   |
| ②全校紫川清掃                        | 毎年、全校児童による紫川清掃を行う。美化活動を通してふるさとの川への親しみや愛着を深める。  |
| ③全校すがお虫見の会                     | 自然豊かな環境を生かし、本校敷地内を流れる用水路を活用して「虫ビオトープ」造りに取り組む。5年生が、「ゲンジ虫」の幼虫を放流する。6月には「全国虫の会」会長をGTとして招聘し、地域の方や保護者と一緒に「すがお虫見の会」を開催する。  |
| ④2年生 生活科<br>「もっと発見！すがおのじまん」    | 地域を流れる川や市の指定文化財である眼鏡橋など、すがおのまちの様々な場所を探検することで地域の「ひと・もの・こと」とのかかわり・つながりの大切さを発見する。また、地域への親しみや愛着を深め、地域を大切にしようとする心情を育てる。   |
| ⑤1, 2年生 生活科<br>「すがお生き物学習」      | 「NPO 法人アサザ基金」の飯島先生による環境学習。生き物とお話する方法やふるさとすがおの生き物の生態と地域環境のつながり・かかわりについて学習する。  |
| ⑥3年生 総合的な学習の時間<br>「すがおキッズ新聞社」  | 菅生の滝や鱒淵ダムを調べ、その場所にかかわりの深い地域の方の話を聞くことで、地域の昔の様子や地域の特色を知り、ふるさとのよさを再確認する。また、新聞にまとめ全校に発行する。   |
| ⑦5年生 総合的な学習の時間<br>「未来につなごう！紫川」 | 紫川の上流・中流・下流の水質調査を行う。また、ほたるの学習や紫川の水中生物調査を通して、問題解決学習を展開していく。更に地域の方と校内の竹炭釜で竹炭をつくり浄化活動を行いながら、浄化効果も検証していく。学習のまとめとして新聞づくりに取り組み、地域や他校に発信していき、ふるさとの環境保全を広くよびかけるとともに継続して実践していく。 |
| ⑧4, 5年生 総合的な学習の時間<br>「リサイクル学習」 | 「古紙リサイクルバスツアー」に参加し、古紙工場やトイレトーパーパー製造工場を見学する。校内でも「3R大作戦」を行い、ペットボトルキャップやプルトップを集め、社会福祉協議会に回収をお願いし、リサイクルに役立てる。  |
| ⑨6年生 総合的な学習の時間<br>「すがお平和宣言」    | 平和集会では、地域の方に戦時中の様子や平和への願い、平和の大切さを話していただく。6年生は、修学旅行で学んだ平和学習での学びを報告し、一人一人が、「すがお平和都市宣言」を発表し、ホームページ等で発信していく。   |

#### （2）特産創生型ふるさと活動（環境にやさしい無農薬農業〈勤労及び食育〉とのかかわり・つながり）

|   |  |
|---|--|
| ①1, 2年生 生活科<br>「すがお小麦ワールド」                  | ふるさと活動農園で小麦を育て収穫・脱穀し、石臼で粉に挽いた後、地域の名人とうどん・パン・団子を作り、食べる。   |
| ②3年生 総合的な学習の時間<br>「名物にしよう！すがおの大豆」           | ふるさと活動農園で大豆を育て収穫した大豆でみそや豆腐、きなこ等を作る。大豆について調べたことを地域に発信する。  |
| ③4年生 総合的な学習の時間<br>「つくろう！高菜漬け」               | ふるさと活動農園で高菜を育て収穫し地域の名人と高菜漬けをつくる。できあがった高菜漬けを全校児童に振る舞う。  |
| ④5年生 総合的な学習の時間<br>「挑戦！竹炭米」                  | 紫川の浄化活動で作った竹炭を稲作にも活用し、学校の田で地域の名人と美味しい竹炭米を作る。   |
| ⑤6年生 総合的な学習の時間<br>「たくあんコンクールから届けよう！岩手県大沢小へ」 | ふるさと活動農園で育てた大根を収穫し、地域の名人とたくあんをつくる。地域で開催される漬物コンクールに出店し、収益を義援金として岩手県大沢小学校へ送り、交流を続けている。                       |
| ⑥全校行事<br>「ふるさとふれあい収穫祭」                      | 5年生の竹炭米、全校児童が育て収穫した冬野菜、3年生の味噌、1・2年生の小麦（団子）を使って団子汁を作り、保護者や地域の方をお招きして収穫の感謝や喜びをともに分かち合う。また、地産地消のよさや生命の大切さを学ぶ。 |

「Think Globally, Act Locally.」の基、環境教育を推進し地球規模で考えながら、多面的にふるさとのことを学び、行動することでよりよいふるさとへと持続発展させていこうとする意識が育ってきている。

本年度は、国立教育政策研究所教育課程研究指定校（総合的な学習の時間）・ユネスコスクール推進指定校として、研究大会を開催し、授業公開を行った。さらに、全体会では地域の方と学校による「すがおふるさとサミット」を行い、学校と地域の「つながり・かかわり」のすばらしさについて発信することができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）